

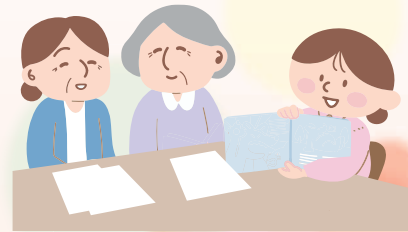


支部活動報告

神戸東部支部

神戸東部支部は、「神戸市立東灘図書館」「協の浜地域福祉センター」「コミュニティプラザ」の拠点活動と「看護の日イベント」「兵庫医科大学学園祭」の出前隊活動を行いました。

今年度より、「健康相談」を中心とした活動に変更となり、委員会では、地域に根ざした活動を継続していくために、健康相談の方法やイベントの企画など活発な意見交換を行っています。拠点活動では、ボランティアの皆さんと地域住民のニーズに応えることができるように協力しながら行いました。今年度の拠点活動と出前隊活動の様子を報告します。



神戸市立東灘図書館



神戸市立東灘図書館は、偶数月の第3木曜日の10:30～12:30に2階会議室を拠点に活動しています。ここでは、健康相談と子育て支援を中心に活動を行っています。

健康相談では、40歳代から80歳代までの幅広い年齢層の方が来られています。親子で来られる方や夫婦で来られる方が、健康の維持や疾病予防など健康相談されています。その一方で、親の介護をされている方、夫や妻を介護されている方の介護相談なども増えています。フレイルチェック表の活用や折り紙、けん玉など指先を使う遊びの実施もしています。

今年度は、神戸市立東灘図書館館長と連携し、怒りの対処についての講話を実施しました。子育て支援に関しては、ご利用者が少ない状況が続いています。子育て支援に関しては、地域のニーズを把握し方法やイベントの開催などを検討していきたいと考えています。



協の浜地域福祉センター

協の浜地域福祉センターは、奇数月の第3月曜日の13:30～15:30に、HAT神戸の協の浜地域福祉センター内の談話スペースを拠点に活動しています。あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター。以下「あんしんすこやかセンター」という。）の職員と連携して実施しています。毎回、10名以上の方が参加されています。独居の方も多く、かかりつけ医がない、身体症状の不安などの健康相談がみられます。リピーターの方が多いため、継続した健康相談を行う

ことができています。しかし、参加するボランティアは交代するため、相談内容を継続する方法を検討していくことが今後の課題と感じています。昨年度から、ACPについて取り組みを行っていますが、利用者への声かけや提示方法など、委員のメンバーは委員会の中で学習しています。今後も継続して取り組みを行っていきたいと考えています。

コミュニティプラザ

コミュニティプラザは、偶数月の第2金曜日の13:30~15:30に県営住宅シルバーハイツ南本町1号棟を拠点に活動しています。

脇の浜地域福祉センター同様、あんしんすこやかセンターの職員と連携して実施しています。毎回、10名前後の方が参加されています。リピーターの方が殆どですが、友達を誘って来られることもあります。

コミュニティプラザは、夫婦での参加、独居の方の参加など様々ですが、70歳以上の方が多く、高齢化が進んでいる印象があります。かかりつけ医がいない、疾病の症状変化、認知機能の低下への不安などの健康相談を行っています。リーフレットを用いた説明を行い、継続した関わりを行っています。

現在は、県営住宅に住まわれている方の利用が多いため、地域の方々に参加してもらえるように、あんしんすこやかセンターの職員と連携していきたいと考えています。



〈出前隊〉看護フェア

今年度は、兵庫県看護協会神戸東部支部、神戸中部支部、神戸西部支部の3支部合同で開催した「看護フェア」にまちの保健室出前隊で参加しました。神戸市北区にあるコアキタマチショッピングセンターで行われ、多くの方の参加がありました。他の支部のボランティアの方とも交流でき、「まちの保健室」の情報交換も行うことができました。

また、兵庫医科大学では、教員と学生で、大学の学祭においてまちの保健室出前隊を行っています。兵庫医科大学の近隣の地域住民や大学生が多く参加されました。参加者の多くは65歳未満で自身の健康についての相談を行いました。他のイベントと重なったため、今年度は、出前隊の活動が2件と少なかったです。

来年度は、開催時間の検討を行い、多くの方に参加してもらえるように考えています。神戸東部地域での出前隊の活動や他の支部との合同開催など、今後、積極的に実施できるように委員会で検討していきたいと考えています。

「のじぎくちゃん」

兵庫県看護協会のマスコットキャラクターとして、ナースのみなさんの応援をしています。

